



## 中村由美子が問う 中学校の登下校について

**問** 中学校の自転車通学では、6km以上の遠距離通学の生徒も多く、心身に与える影響や防犯・安全対策、近年の猛暑による熱中症リスクなどがある。スクールバスの要望も出ているが、今までの対応と、今後の対策や方針は。

**答 教育長** 町では、自転車通学を前提としているため、距離基準を設けていません。不審者の声掛け事案の発生、熱中症などの危険性は高まっていると認識しています。防犯・交通安全の取組として、防犯ブザー配布、青色パトロール再開、情報無線などによる周知、主要交差点や小中学校周辺の防犯カメラと看板の設置を行っています。今後も、町・学校・地域が一体となり継続強化していくとともに、スクールバス運行については、生徒・保護者・学校関係者の意見を幅広く集約し、他の交通手段も含めて検討していきます。

**答 学校教育課長** 熱中症リスクは、遠距離ほど危険性が高まる認識は持っていますが、現時点ではスクールバス運行の考えには至ってはいません。

**問** 生徒を守る観点から、安全対策として遠距離通学生徒に登下校時の携帯電話所持(保護者が使用申請)を許可してはどうか。

**答 学校教育課長** 町の判断基準として、県教育委員会を示されている学校への持ち込み禁止とある中で、登下校時も含まれると考えます。緊急時の連絡手段としての有効性は高いと考えられますが、反面、事故やトラブルなどの危険性もあり、慎重に検討する必要があると考えます。



## スポーツ振興について

芳賀町第7次振興計画の中で、町民がスポーツに親しむ機会を提供する、町民がスポーツを楽しめる快適な環境を提供する、総合型地域スポーツクラブの設立を推進するとある。

**問** 町体育館は解体され、町第2体育館の雨漏り、地域体育館の老朽化が進んでいる。快適な施設環境をどのように提供していく考えか。

**答 教育長** 運動施設16カ所中、体育館が一番多く、地域体育館を含めると7つの施設があります。廃校を活用した地域体育館は、スポーツ活動や地域交流の場として身近に利用できるよう、引き続き維持修繕に取り組みます。第二体育館は、今年度空調設備工事設計業務を進め、災害時の指定避難場所として機能強化を図ることで国の交付税措置を受けるため、先行して実施しています。施設の大規模修繕などについては利用状況やスポーツ関連事業の取組みをふまえ、公共施設など総合管理計画に合わせて検討予定です。

**問** 第二体育館は、他の老朽化した施設(保健センターや農業者トレーニングセンターなど)と一緒にした複合型の新しい総合体育館の検討を計画的に考える時期ではないか。

**答 生涯学習課長** 長期的な視点で、財源確保を含め、新たな施設の計画を進めていきたいと考えます。



※その他、スポーツに親しむ機会の提供の具体的な内容や、準備が進む総合型地域スポーツクラブ設立の内容について質問しました。

こえ  
聲

# 私のいいこと



岡田 義之さん  
(下高根沢)

## 守るべきふるさと

私はLRTかしの森駅に隣接する谷津行政区というところで農業を営んでいます。LRTが着工から開通し現在に至るまで、この地域に住む人たちは便利さとは真逆な日常を過ごすこととなりました。その内容はコロナ後の町議会にほんの一部ですが取り上げられ、皆様の耳に届いているかもしれません。少しずつ前に進み始めてはいますが、より早い改善を望んでいます。また、周辺でも特に高齢・過疎化が進行しています。若い世代は町を離れ、約35haの農地の後継者もほぼおらず子供達の人数が激減している状況です。私は将来を見据え、この地域を郷に戻る、また移住者が増える環境に変える必要が今求められていると思います。

工業団地に隣接しLRTが走り、すぐ近くにはゆいの杜の商業施設がある。農地と自然を守りつつ、将来の子供達の為にとても大切だと考えます。



黒崎 久男さん  
(芳志戸)

## 個性の尊重と人の交流

個人の価値観や多様性など尊重する社会づくりが進められています。私の職場では業務時間外は、スマホ片手に時間を過ごしている方を多く見掛けます。みんなで雑談でもしながら過ごしたいとも思いますが、それぞれの過ごし方があるようです。

地域コミュニティでは、コロナ禍を経て更にコミュニケーションをとる機会が無くなったと感じます。「地域行事などは煩わしいから参加しない」という方も多いと思います。

コミュニケーションの取り方は、時代が進むにつれ変わりました。人との距離は遠くなる一方、WEB上での距離が気になるようです。その時の気持ち次第で近づいたり遠ざかったり。

古い価値観かもしれませんが、実際に顔を合わせてコミュニケーションを図る方が、人の温かみを感じ、つながりとなるのではないのでしょうか。

実際のコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。



荒井 皇江さん  
(西水沼)

## 健康長寿をめざして

私は昨年町B&Gのプール教室に通っています。プールには私より年配の方々が通っていて元気に泳いでいる姿を目にし、驚かされたところです。

私たちの町にはプール、武道館などの施設も充実し高齢者を対象にした教室やサロンが実施されています。

日本の高齢化率は2025年には30%を超えると見込まれており少子高齢化社会がますます進展します。私たち高齢者の健康寿命と平均寿命の差は約10年とされています。健康寿命を延ばすためには町の施設や教室などを利用し体を動かしたり、お話をすることで、自立した日常生活を送ることが大切です。

時々町外の人たちから芳賀町はいろいろな施策などが充実していて羨ましいと言われる。しかしまだ多くの町民に利用されていないように感じます。もっと施設や教室などの利用が拡大するような取り組みをして欲しいと思います。